

## 大齋前主日特禱

神よ、あなたはその独り子の受難の前に、聖なる山の上でみ子の栄光を現されました。どうか、わたしたちが、信仰によってみ顔の光を仰ぎ見、自分の十字架を負う力を強められ、栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。**アーメン**

## 旧約聖書 出エジプト記 34章29-35節

34:29 モーセはシナイ山から下りた。山を下りるとき、彼は二枚の証しの板を手にしていった。モーセは、主と語るうちに彼の顔の肌が光を帯びていたことを知らなかった。30 アロンとイスラエルの人々が皆モーセを見ると、彼の顔の肌が光を帯びていた。それで彼らはモーセに近づくことを恐れた。31 モーセが彼らに呼びかけると、アロンと会衆の代表者たちが皆モーセのところに戻って来たので、モーセは彼らに語った。32 その後、イスラエルの人々が皆近づいて来たので、モーセは主がシナイ山で彼に語られたことをことごとく彼らに命じた。33 モーセは彼らに語り終えると、顔に覆いを掛けた。34 モーセは、主の前に行って主と語るときは、出て来るときまで覆いを外していた。そして彼は出て来て、命じられたことをイスラエルの人々に告げた。35 イスラエルの人々がモーセの顔を見ると、モーセの顔の肌は光を帯びていた。そこでモーセは、再び主と語るために中に入るまで、顔に覆いを掛けた。

## 詩 編 第99編

- 1 主は王。すべての民は恐れおののく // 神はケルビムに座し、地は震えおののく
- 2 シオンにいます主は偉大 // すべての民にあがめられる
- 3 神の偉大なみ名はたたえられる // 神は畏るべき、聖なる方
- 4 あなたは審きを愛する力ある王 // 堅く公正を立て、ヤコブの中で審きと正義を行われた
- 5 わたしたちの神、主をあがめ // その足台のもとにひれ伏せ、神は聖なる方
- 6 神の祭司、モーセとアロン、神を信じるサムエル // 彼らは主を呼び求め、神は彼らにこたえられた
- 7 神は雲の柱の中から民に語られ // 彼らは与えられた諭しとおきてを守った
- 8 わたしたちの神、主よ、あなたは彼らにこたえられた // あなたは赦しを与え、罪には罰で報いられる
- 9 わたしたちの神、主をあがめ、尊い山で伏し拝め // わたしたちの神、主は聖なる方

## 使徒書 コリントの信徒への手紙二 3章12-4章2節

3:12 このような希望を抱いているので、私たちは堂々と振る舞い、13 モーセが、やがて消え去るものの最後をイスラエルの子らに見られまいとして、顔に覆いを掛けたようなことはしません。14 彼らの心はかたくなにされたのです。今日に至るまで、古い契約が朗読

されるときには、同じ覆いが除かれずに掛かったままです。それはキリストにあって取り除かれるものだからです。15 実際、今日に至るまでモーセの書が朗読されるときは、いつでも彼らの心には覆いが掛かっています。16 しかし、人が主に向くならば、覆いは取り去られます。17 主は霊です。そして、主の霊のあるところには自由があります。18 私たちは皆、顔の覆いを除かれて、主の栄光を鏡に映すように見つつ、栄光から栄光へと、主と同じかたちに変えられていきます。これは主の霊の働きによるのです。

4:1 こういうわけで、私たちは、憐れみを受けてこの務めに就いているのですから、落胆しません。2 かえって、恥じて隠したりせず、謀によって歩まず、神の言葉を曲げず、真理を明らかにし、神の前で自分自身をすべての人の良心に推薦します。

### 福音書 ルカによる福音書 9章28－36節《37－43》

9:28 この話をしてから八日ほどたったとき、イエスは、ペトロ、ヨハネ、ヤコブを連れて、祈るために山に登られた。29 祈っておられるうちに、イエスの顔の様子が変わり、衣は白く光り輝いた。30 見ると、二人の人がイエスと語り合っていた。モーセとエリヤである。31 二人は栄光に包まれて現れ、イエスがエルサレムで遂げようとしておられる最後のことについて話していた。32 ペトロと仲間は、眠りこけていたが、目を覚ますと、イエスの栄光と、一緒に立っている二人の人が見えた。33 この二人がイエスから離れようとしたとき、ペトロがイエスに言った。「先生、私たちがここにいるのは、素晴らしいことです。幕屋を三つ建てましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのために。」ペトロは、自分でも何を言っているか、分からなかったのである。34 ペトロがこう言っていると、雲が現れ、彼らを覆った。彼らが雲に包まれたので、弟子たちは恐れた。35 すると、雲の中から、「これは私の子、私の選んだ者。これに聞け」と言う声がした。36 この声がしたとき、イエスだけがそこにおられた。弟子たちは沈黙を守り、見たことを当時、誰にも話さなかった。

《37 翌日、一同が山を下りると、大勢の群衆がイエスを出迎えた。38 すると、群衆の中から一人の男が叫んだ。「先生、どうか息子を見てやってください。一人息子です。39 御覧ください。霊が取りつくと、この子は突然叫び出します。霊がこの子に痙攣を起こさせて泡を吹かせ、さんざん打ちのめして、なかなか離れません。40 お弟子たちに、この霊を追い出してくださるよう頼みましたが、できませんでした。」41 イエスはお答えになった。「なんと不信仰で、ゆがんだ時代なのか。いつまで私は、あなたがたと共にいて、あなたがたに我慢しなければならないのか。あなたの息子をここに連れて来なさい。」42 その子が来る途中でも、悪霊は投げ倒し、痙攣を起こさせた。イエスは汚れた霊を叱り、子どもを癒やして父親にお返しになった。43 人々は皆、神の偉大さに心を打たれた。》